

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のかくかくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年5月2日 NO.9 (309)

ありがとうございます。



はいどうぞ!

オー君 「あれあれ?何<sup>なに</sup>をやっているんだろう。」

花ちゃん 「オー君。知らないの。校長先生<sup>こうちょうせんせい</sup>から『コスモス』の種<sup>たね</sup>をもらっているのよ。」

オー君 「コスモスって、秋<sup>あき</sup>に校庭<sup>こうてい</sup>のあちこちにピンクや白<sup>しろ</sup>の花<sup>はな</sup>を咲<sup>さ</sup>かせていた花<sup>はな</sup>だね。」

花ちゃん 「そうよ。花<sup>はな</sup>の咲<sup>さ</sup>いた後<sup>あと</sup>にみんなで種<sup>たね</sup>取りをしたでしょ。それを校長先生<sup>こうちょうせんせい</sup>がみんなにあげるために取<sup>と</sup>っておいてくれたのよ。」

校長先生 「そのとおりだよ。国立七小<sup>くにたちななしょう</sup>が花<sup>はな</sup>いっぱいになったから、今度<sup>こんど</sup>はみんなのおうちも花<sup>はな</sup>いっぱいになるといいかなと思<sup>おも</sup>ったんだよ。お庭<sup>にわ</sup>にまいてもいいし、ハチかプランターで育て<sup>そだ</sup>てるのもいいね。花<sup>はな</sup>のある生活<sup>せいかつ</sup>って、とてもステキだと先生<sup>せんせい</sup>は思<sup>おも</sup>うんだ。」

オー君 「まだもらっていない人<sup>ひと</sup>がいるかもしれないから、みんなに知<sup>し</sup>らせてくるね。」

校長先生 「まだまだたくさん残<sup>のこ</sup>っているからね。ほしい人は校長室<sup>こうちょうしつ</sup>に来てほしいね。それから、おうちで花<sup>はな</sup>の種<sup>たね</sup>をまけば、いつでもコスモスの生<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>の様<sup>よう</sup>子<sup>す</sup>が観<sup>かん</sup>察<sup>さつ</sup>できるだろう。それもとっても楽しいと思<sup>おも</sup>うよ。小さな種<sup>ちい</sup>でもたくさん<sup>たね</sup>の花<sup>はな</sup>を咲<sup>さ</sup>かせる、そんな生き物<sup>いきもの</sup>の不思議<sup>ふしぎ</sup>を感じ<sup>かん</sup>じとってほしいと願<sup>ねが</sup>っています。」



お手伝い！  
まかせろ！

よいしょ！  
よいしょ！

オー君 「あれあれ？何<sup>なに</sup>をやっているんだろう。」

花ちゃん 「わたしも知らないわ。何<sup>なに</sup>をやっているんでしょう。」

2年S君 「田<sup>た</sup>んぼ<sup>つく</sup>を作っているんだよ。」

オー君 「田<sup>た</sup>んぼ？え？どういうことですか。どこにもないですよ。」

2年S君母 「ここは、もともとは田<sup>た</sup>んぼ<sup>よう</sup>用<sup>つく</sup>に作ったものなんだそうです。それがいつの間<sup>ま</sup>にか土<sup>つち</sup>を入れてしまって、その後<sup>ご</sup>、そのまんまだったみたいですよ。」

オー君 「それはもったいないですね。」

花ちゃん 「田<sup>た</sup>んぼにすれば、みんなで田<sup>た</sup>植え<sup>う</sup>ができますね。」

校長先生 「校<sup>こう</sup>長<sup>ちやう</sup>先生<sup>せんせい</sup>も知らなくて、この雑<sup>ざつ</sup>草<sup>そう</sup>畑<sup>ばたけ</sup>を何<sup>なん</sup>とかしようと<sup>おも</sup>ってヒマワリやコスモスを植<sup>う</sup>えたりしてきたけど、もともとは田<sup>た</sup>んぼだったことを、ついこの前<sup>まえ</sup>、教<sup>おし</sup>えてもらったんだよ。」

オー君 「だれに教<sup>おし</sup>えてもらったんですか。だれが気<sup>き</sup>がついたんですか。」

古田先生 「わたしでーす。はじっこにじゃぐちがあるし、まわりはしっかりとコンクリートで固<sup>かた</sup>めてあるし、あれ？<sup>おも</sup>と思ったというわけーす。」

2年S君花 「よいしょ！よいしょ！みんなで田<sup>た</sup>んぼ<sup>ふっかつ</sup>を復活させましょう。」

2年S君 「お手伝いはまかせて！がんばりまーす。」

校長先生 「た<sup>たの</sup>しみな場<sup>ばしょ</sup>所<sup>しよ</sup>がまた一つ国<sup>くに</sup>立<sup>たち</sup>七<sup>なな</sup>小<sup>しょう</sup>にできてよかったね。田<sup>た</sup>植えをしてから、稲<sup>いね</sup>がどのように育<sup>そだ</sup>つか観<sup>かん</sup>察<sup>さつ</sup>するのも楽しいね。それから、学<sup>が</sup>校<sup>こう</sup>で作<sup>つく</sup>ったお米<sup>こめ</sup>でみんなでおにぎりを食<sup>た</sup>べたら美味<sup>おいし</sup>しいぞ。みなさん！お楽<sup>たの</sup>しみに！」